

製品名: インテグリン $\alpha 5$ ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe04142

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.29mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 115 kDa; Observed MW: 150 kDa

抗原情報

遺伝子名	ITGA5
別名	ITGA5; FNRA; Integrin alpha-5; CD49 antigen-like family member E; Fibronectin receptor subunit alpha; Integrin alpha-F; VLA-5; CD49e
遺伝子 ID	3678
SwissProt ID	P08648
免疫原	ヒトインテグリン $\alpha 5$ の合成ペプチド

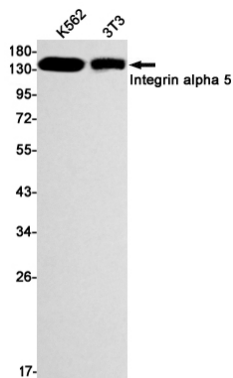
背景

インテグリン $\alpha 5/\beta 1$ は、フィブロネクチンおよびフィブリノーゲンの受容体です。リガンド中の R-G-D 配列を認識します。ITGA5:ITGB1 は、典型的なリガンド結合部位 (部位 1) とは異なる部位 (部位 2) を介して PLA2G2A に結合し、インテグリンの構造変化と部位 1 へのリガンド結合の増強を引き起こします。ITGA5:ITGB1 はフィブリリン 1 (FBN1) の受容体として機能し、R-G-D 依存性の FBN1 への細胞接着を媒介します。

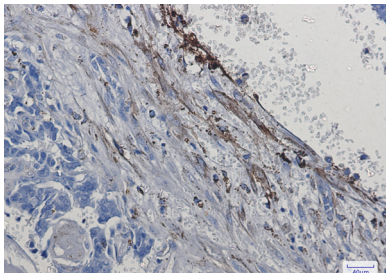
研究分野

シグナル伝達

画像データ



インテグリン アルファ 5 抗体を使用した K562、3T3 溶解物中のインテグリン アルファ 5 のウエスタン ブロット分析。



インテグリン アルファ 5 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。